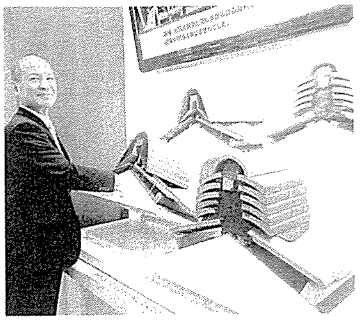
ケイミュー

東京フェスタに2400名

ルーガ高棟に注目集まる

ケイミュー㈱（本社・大阪市、小森隆社長）は3月6、7日、江東区有明のパナソニックセンター東京で「ケイミューフェスタ2014」を開催し、屋根材や外壁材の新商品を展示した。会期中は関東地区の得意先工事業者や設計事務所、工務店ら約2400名が会場に足を運んだ。

同フェスタは同社設立10周年を記念して開かれ、今後、全国7会場で順次開催される。



ルーガ高棟仕様の棟を持ち上げる小森社長

出品された屋根材で注目を集めたのは、厚もの軽量屋根材「ROOGA（ルーガ）」の高棟仕様。昨年9月に「雅」専用として発売され、のし瓦3段と5段積みに相当する一体棟を特長とし、鬼瓦（海津タイプ）や隅巴瓦にはケイミューオリジナルの陶器瓦が使われる。会場では寄棟の模擬屋根に「雅」が高棟仕様で展示された。

さらに同仕様の模擬棟を持ち上げて軽さを体感するコーナー（写真）も併設。同仕様が震度6を想定した振動実験（社内試験）をクリアしたこともアピールしていた。

同社によると、ルーガの販売については「13年は前年比で10％増、昨年12月から今年2月までの3カ月間では同72％増」と高い伸びを示している。高棟仕様発売後は「和瓦からの葺き替えなどが増えている」とした。

ルーガではまた、太陽光発電システムのモジュール設置に適した「ROOGA台座付瓦」や、ルーガと雨とい「アイアン」、外壁材「光セラ」をセットで施工して「外まわりトータルリフォーム」として提案した。構想段階の提案として「鉄平」の新役物や、ルーガの施工バリエーションを広げる新工法も展示された。

カラーベストシリーズでは、「コロニアル遮熱グラッサ」を展示し、野地裏面温度が通常のグラッサのそれよりも上昇しないことを、両製品に熱を照射して温度差で見せたほか、遮熱グラッサの外壁材としての活用も提案した。

開会セレモニー90名

6日には得意先90名出席のもと、同会場でオープニングセレモニーが開かれた。小森社長は「今後は住宅のリフォーム市場と非住宅市場が有望。ともに取り組んでいこう」と呼びかけた。関東・首都圏ケイミュー会の齋藤勝会長も「戸建市場プラス大型施設への営業展開は我々の糧になる」とした。

新潟県連

活性化委員会を創設

組合の方向性「1年で」

新潟県瓦工事業連合会（南日伸夫会長、145社）は3月5日、月岡温泉のホテル華鳳で第41回定期総会を開催、南日会長は一昨年から自治体への陳情強化を打ち出しているが「傘下組合、支部の活性化という狙いもある。新年度も継続してほしい」と訴えた。

役員改選では南日会長が再任された。副会長兼安全委員長には、全瓦連青年部の前部長、井口肅一氏が選任された。「組織強化」など平成26年度の事業計画と約1千万円の予算は原案通り承認された。

「組織強化」では、南日会長の肝いりで組合活性化委員会を創設、佐藤勝美指導委員長が委員長を務める。メンバーは井口安全委員長、桜井正和青年部長ほか、理事3名程度で構成。佐藤委員長は「組合は今のままで良いのか、変えるべきなのか、変えるとしたらどう変えるのか。1年で方向性を出したい」と語っている。

回転機でガイドPR

来場者の注目集める

新潟県瓦工事業連合会は3月1、2日、新潟市産業振興センターで開催された「日報住まいのリフォームフェア2014春」（主催＝㈱新潟日報社）に出展、ガイドラインの回転試験機のような、電動式（100V）のデモ用回転機をデビューさせた。

回転機で注目を集め、ガイドラインを説明する南日会長＝新潟県連提供

同フェアへの出展は8年連続8回目。前回出展後の反省会で井口肅一理事からの提案を受け、船越信一PR委員長が自作した。試験機同様、1分間に3回転まで回すことができる。屋根は棟が丸共4段、棟下瓦含め流れ2枚。図面も用意し、希望者に配布した。

同フェアではこのほか、平、軒、袖、角の小瓦を正しく並べるパズル、相談コーナーなど設け、ガイドラインと瓦、同連合会をPRした。

湿式通気は「1/3」

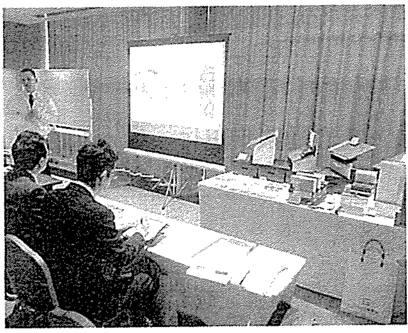
ハウゼサンエイセミナーで　耐久性低下を指摘

金属製建築材料の製造販売業、㈱ハウゼサンエイ（本社・大阪市、神戸睦史社長）は3月6日、東京都有明のホテルサンルート有明で「ハウゼコ技術セミナー」（無料）を開き、住宅業界関係者約30名が聴講した。セミナーのテーマは「木造住宅の建物外皮の劣化事例と解決策」で、神戸社長が講師を務めた。

同社長は、モルタル壁など湿式外壁用土台水切りの腐食の現状や、同社が開発したモルタル壁専用水切りの説明を行った。また、笠木の劣化事例や漏水実験の結果も示した。

同社長によると、湿式の外壁は2001年の住宅金融公庫（現住宅金融支援機構）の仕様書改定により、土台部への水切り施工が特記として盛り込まれ、また外壁は原則として通気構法とされたが、標準工法が確立されてこなかった。

「現状、モルタル壁のうち通気構法を採用している例は全体の約3分の1程度と思われ、多くはラス（網状の金物）などの上から壁へ直貼りするケースではないか」と同社長。このため不適切な施工によって住宅の耐久性を低下させる原因のひとつになっていた。



左が神戸社長。商品も展示した

同社のセミナーは今年1月から3月下旬にかけて東京、大阪、名古屋など全国各地で開催中。

ハウゼコに社名変更

同社は今年5月11日に創立50周年を迎えるにあたり、4月1日より社名を「㈱ハウゼコ」に変更する。

新社名はこれまで、同社の企業ブランド名として使ってきた。ドイツ語で家を意味するハウゼと、エコロジーのエコを一体化させた。

京都技能士会

総会で表彰あまた

府や市、行政機関から

京都府瓦技能士会（尾上正明会長、64名）は3月2日、ホテルルビノ京都堀川で第34回通常総会を開催、尾上会長は冒頭、「建設業界が労働者不足の今こそ、単価を上げる努力をしなければならない。またどんな時でも技能向上に努めなければならない」と挨拶した。

来賓の府商工労働観光部労政・人材育成課の荒田豊課長は「京都の歴史と伝統を守ってくれているのが屋根瓦」とし、京都市産業観光局商工部中小企業振興課の山中かおり雇用創出等担当課長も「瓦は京都だけでなく日本の風景になくてはならないもの」とエールを送った。

平成26年度の事業計画案、予算案は原案通り承認された。表彰では、瓦葺き技能競技大会、屋根瓦施工コンクール、瓦作りコンクールの各入賞者には府知事賞や京都市長賞、南丹市長賞、府職業能力開発協会会長賞、府技能士会連合会会長賞などが贈られた。

震災後、需要伸びる

金属サイディング

日本金属サイディング工業会（本部・東京、新美義根会長＝㈱チューオー会長）は3月5日、東京の鉄鋼会館で第12回金属サイディング施工例写真コンテストの入選作品発表会を行った。

震災後、金属サイディングは伸びているとされ、全国的には需要の半分がリフォーム市場での採用という。

今回のコンテストでは、1842作品の応募があり、最優秀賞など決めた。前回に続いて応募作品件数に応じた18万4200円を被災地支援の義援金とした。

BLと合体認証

太陽熱温水器の品質確保

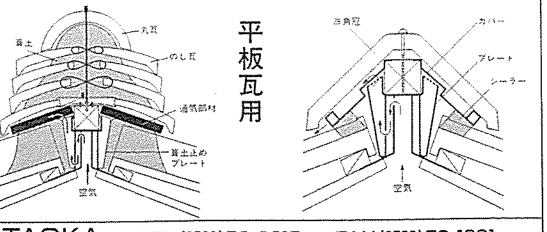
ソーラーシステム振興協会（略称・ソ振協、本部・東京、川上康男会長）とベターリビング（略称・BL、本部・同、那珂正理事長）はこのほど、太陽熱利用機器（太陽熱温水器など）の性能、施工品質などの確保、また製品保証をより確実なものにするため、ソ振協の「優良ソーラーシステム認証」と、BLの「太陽熱利用システム認定」の合体認証の運用を開始した。

青空　内蔵型棟換気システム

① 内蔵型だから、施工後の美しい外観が保てます。
② 堅牢で耐久性に優れたステンレス素材（SUS304）を使用。
③ 施工性に優れ、トータルコストが軽減。

和形のし積み用

平板瓦用



KATAOKA　TEL（0566）53-0615　FAX（0566）53-1391

伝統と高品質な岐阜の瓦

美濃瓦

株式会社 丸新美濃瓦

本社　〒509-5122 岐阜県土岐市土岐津町土岐口1372-1
TEL0572-55-1122代 FAX0572-54-3210
大阪営業所　〒557-0053 大阪市西成区千本北2-2-4-8
TEL06-6651-1953 FAX06-6651-1954
飛水営業所　〒509-0315 岐阜県加茂郡川辺町比久見1529
TEL0574-53-5234 FAX0574-53-5242
URL http://www.minogawara.co.jp/

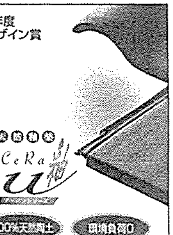
2006年度
グッドデザイン賞
受賞

GOOD DESIGN AWARD 2006

オリジナル国産釉薬瓦

ReCeRa you

100%天然釉薬　100%天然粘土　環境負荷0



株式会社 木村窯業所

本社工場：島根県江津市都野津町1501
TEL.(0855)53-0618 FAX.(0855)53-0699
青山工場：島根県江津市二宮町神主1964
TEL.(0855)53-0688 FAX.(0855)53-0656
http://www.imj.jp/kimura　gaou@green.ocn.ne.jp